

内部評価様式

目標 1 人権を尊重しあい男女共同参画をすすめるまちづくり

施策の方向 1 人権尊重・男女平等意識の啓発と調査・研究

事業番号	推進事業	事業内容	R1年度事業実施状況	前年度の評価を踏まえて男女共同参画に配慮した点	数値目標NO.	数値目標の達成状況	年度ごとの自己評価					所管課
							年度	自己評価	自己評価を選択した理由	男女共同参画推進の課題	男女共同参画推進の課題解決に向けた今後の取組	
12	広報誌等による情報提供及び啓発	人権尊重・男女共同参画の視点に立った、広報・出版物を作成します。	男女共同参画社会情報誌「You&Me～夢～」、男女共同参画推進センター広報誌「鐘の音」の発行 年2回 (10月号 ●部、3月号 ●部) 特集テーマ ○○	固定的性別役割分担意識の解消につながるよう、○○というテーマを設定した。		-	R1	B	「男女共同参画社会情報誌「You&Me～夢～」及び男女共同参画推進センター広報誌「鐘の音」について、10月号は特集のテーマにあわせて「ゲットを絞って配布し、3月号は全戸配布を行うなど効果的に配布することで男女共同参画に関する意識啓発をすることができたため。」	時流に沿った適切な情報をより効果的に伝えられる誌面づくり。	時流に沿った内容、わかりやすい文章、効果的な図表や写真などを取り入れ、多くの人に興味を持ってもらえる誌面づくりに努める。	人権政策・男女共同参画課
						-	R2					
						-	R3					
						-	R4					
						-	R5					
13	地域活動における男女共同参画の啓発	【数値目標】 「啓発活動実施回数」 3回/年度(平成29年度) →3回以上/年度(平成35年度)	地域のイベントに参加し、男女共同参画に関する広報誌等の配布やクイズを実施した。 【実施回数】4回/年度 ・コブみらいフェスタ ・大宮区ふれあいフェア ・中央区区民まつり ・市民活動サポートフェスティバル	男女共同参画に関するクイズの実施するにあたり、多くの市民に男女共同参画社会の実現に関心を持ってもらうきっかけとなるような質問項目を設定し、クイズを実施後に各設問の回答と詳しい解説を入れた解答集を渡すことで男女共同参画に関する認識が深まるような流れにした。	5	○	R1	A	地域のイベントで男女共同参画社会情報誌「You&Me～夢～」や啓発用チラシ等を配布するとともに、男女共同参画に関するクイズを実施し、市民に対し男女共同参画の意識啓発を行うことができた。啓発活動の実施回数が目標を上回ったため、自己評価を「A」とした。	男女共同参画に関する市民等の意識の向上。	各種イベントでの男女共同参画に関する啓発が一過性のものでないよう、今後も継続的に地域活動や交流の場において啓発を実施する。	人権政策・男女共同参画課
							R2					
							R3					
							R4					
							R5					

	①5か年で測るもの	②単年度で測るもの
◎・目標値を上回った	$X \geq 20\%$	$X \geq 100\%$
○・概ね目標値どおり	$20\% > X \geq 0\%$	$100\% > X \geq 80\%$
△・目標値を下回った	$0\% > X$	$80\% > X$
	①は「累計値÷達成期限までの年数×経過年数」を目標値とした上で評価	

- A : 計画に基づいて事業を実施し、施策の方向性の観点から、十分な効果があった (また目標を大きく上回った)
- B : 計画に基づいて事業を実施し、施策の方向性の観点から、一定の効果があった (または目標を概ね達成できた)
- C : 計画に基づいて事業を実施したが、施策の方向性の観点から、あまり効果がなかった (または目標の達成には課題が残った)
- D : 計画に基づいて事業を実施したが、施策の方向性の観点から、ほとんど効果がなかった。 (またはほとんど目標を達成できなかった)
- E : 事業を予定どおり実施しなかった
- : その他 (未実施、効果測定不能、事業終了 など)